

平成21年度 林野庁関係予算概算決定額の概要

1. 総括表

平成20年12月

区 分	平成20年度 予 算 額	平成21年度 概算決定額	対前年度比
	百万円	百万円	%
公 共 事 業 費	277,859	270,899	97.5
一般公共事業費	267,885	260,925	97.4
治山事業費	105,250	99,190	94.2
森林整備事業費	162,635	161,735	99.4
災害復旧等事業費	9,974	9,974	100.0
非 公 共 事 業 費	107,582	107,760	100.2
義務的経費	59,613	59,806	100.3
その他経費	47,969	47,954	100.0
総 計	385,441	378,659	98.2

(注) 上記のほか、地域再生基盤強化交付金措置額を内閣府に計上。

2. 重要課題推進枠(再掲)

項 目	概算決定額(億円)
森林整備の促進及び国産材利用の推進を通じた林業活性化	123

平成20年度 林野庁関係補正予算案(第2号)の概要

平成20年12月

林 野 庁

補正追加額

303 億円

(単位:百万円)

追加項目	追加額		
	公共	非公共	計
(森林・林業・木材産業づくり交付金等)		10,262	10,262
(1)国産材住宅づくりワンストップ・サービス整備事業		20	20
(2)森林・林業・木材産業づくり交付金		7,785	7,785
うち路網整備地域連携モデル事業		(5,797)	(5,797)
(3)独立行政法人農林漁業信用基金出資金		2,061	2,061
(4)緑の雇用担い手対策事業		396	396
(一般公共事業費)	20,000		20,000
(1) 森林整備事業	15,000		15,000
(2) 治山事業	5,000		5,000
合 計	20,000	10,262	30,262

(参考)

上記のほか、事業効果の早期発現を図るため施行する事業について、国庫債務負担行為(ゼロ国債)の補正(事業費規模で治山事業92億円、森林整備事業34億円、計125億円)を計上する。

森林吸収目標達成に向けた平成21年度の対策について

京都議定書森林吸収目標(1300万炭素トン)の達成を図るためには、平成19~24年度の6年間において、毎年20万haの追加整備が必要。

これまでの取組

- 平成19年度(初年度)の取組
補正予算をあわせ、概ね23万haに相当する765億円を確保
 - ① 平成18年度補正予算 530億円 【概ね15万ha】
 - ② 平成19年度当初予算 235億円 【概ね8万ha】
- 平成20年度(2年目)の取組
補正予算をあわせ、概ね21万haに相当する546億円を確保
 - ① 平成19年度補正予算 240億円 【概ね6.5万ha】
 - ② 平成20年度当初予算 306億円 【概ね14.5万ha】

平成21年度(3年目)の取組

- 平成21年度においては、次のとおり平成20年度補正予算をあわせ、20万haを超す追加整備(概ね21.5万ha)に相当する620億円を確保
 - ① 平成20年度第1次補正予算 268億円 【概ね7.5万ha】
 - ・災害防止を目的とした緊急的な森林整備 243億円(公共)
 - ・木材・木質バイオマスの利活用の総合的推進(うち間伐定額助成分) 25億円(非公共)

※第2次補正予算では、間伐推進に不可欠な路網整備(208億円(うち定額助成58億円))を措置
 - ② 平成21年度当初予算 352億円 【概ね14万ha】
 - ・林野公共预算における森林整備関係予算への重点化 101億円【2.5万ha】
 - ・農林水産関係公共事業一体となった森林づくりの推進 150億円【6万ha】
 - ・非公共事業を活用した取組 101億円【5.5万ha】

(うち間伐定額助成分 85億円)
- 間伐等の森林整備に係る定額助成を大幅拡充
(定額助成として活用可能な交付金の特別枠等を含め、合計203億円)